

(提案 1)

平成 26 年 10 月の会員及び連携会員の改選に係る基本的事項（案）

日本学術会議会則第 8 条第 6 項の規定に基づき、下記の基本的事項について、幹事会に付議することとしたい。

記

1 会員候補者及び連携会員候補者の推薦・選考に関する事項

推薦・選考の全体像（図）は、別紙 1 のとおりとする。

- ① 会員及び連携会員（推薦者）に対し、別に幹事会が定める推薦書により、推薦を求めることとする。
※推薦者が会員又は連携会員のどちらの候補者として推薦するかを明示するため、推薦書にそれを記入する欄を設けることとする。
※会員の候補者として推薦された者は、連携会員の候補者としても推薦された者とみなすこととする。
- ② 第 21・22 期（H26.9 末任期満了）の連携会員は、自動的に、次期の会員・連携会員の選考の候補者とする。
※本人に、就任意思の確認と現在の本人情報（推薦書の記載項目のうち候補者情報に係る項目とする。以下同じ。）を求めることとする。
※年齢により選考対象とならない者を除く。
- ③ 第 22・23 期（H29.9 末任期満了）の連携会員は、自動的に、次期の会員の選考の候補者とする。
※本人に、就任意思の確認と現在の本人情報を求めることとする。
※年齢により選考対象とならない者を除く。
- ④ 第 21・22 期（H26.9 末任期満了）の会員は、自動的に、次期の連携会員の選考の候補者とする。
※本人に、就任意思の確認と現在の本人情報を求めることとする。
※補欠の会員は、1 回に限り再任されることができるので、年齢により、次期の会員又は連携会員の選考の候補者とする。

2 会員及び連携会員からの推薦に関する事項

- ① 候補者の推薦可能人数は、日本学術会議の運営に関する内規第 6 条第 4 項のとおり、会員及び連携会員の候補者合わせて 5 名以内とし、うち会員

候補者は2名以内とする。

※推薦に当たっては、女性の数、地域バランス、産業界・実務家の属性、若手研究者等に配慮することを求めることとする。

- ② 会員候補者は、6年の任期を務められる者（発令時に64歳未満の者）が望ましいが、原則として、少なくとも1期（3年）以上在任できる者（発令時に67歳未満の者）を対象とする。

※この旨は会員・連携会員にあらかじめ周知することとする。

- ③ 推薦書の記載項目のうち候補者情報に係る項目については、候補者本人に記入を依頼することとする。

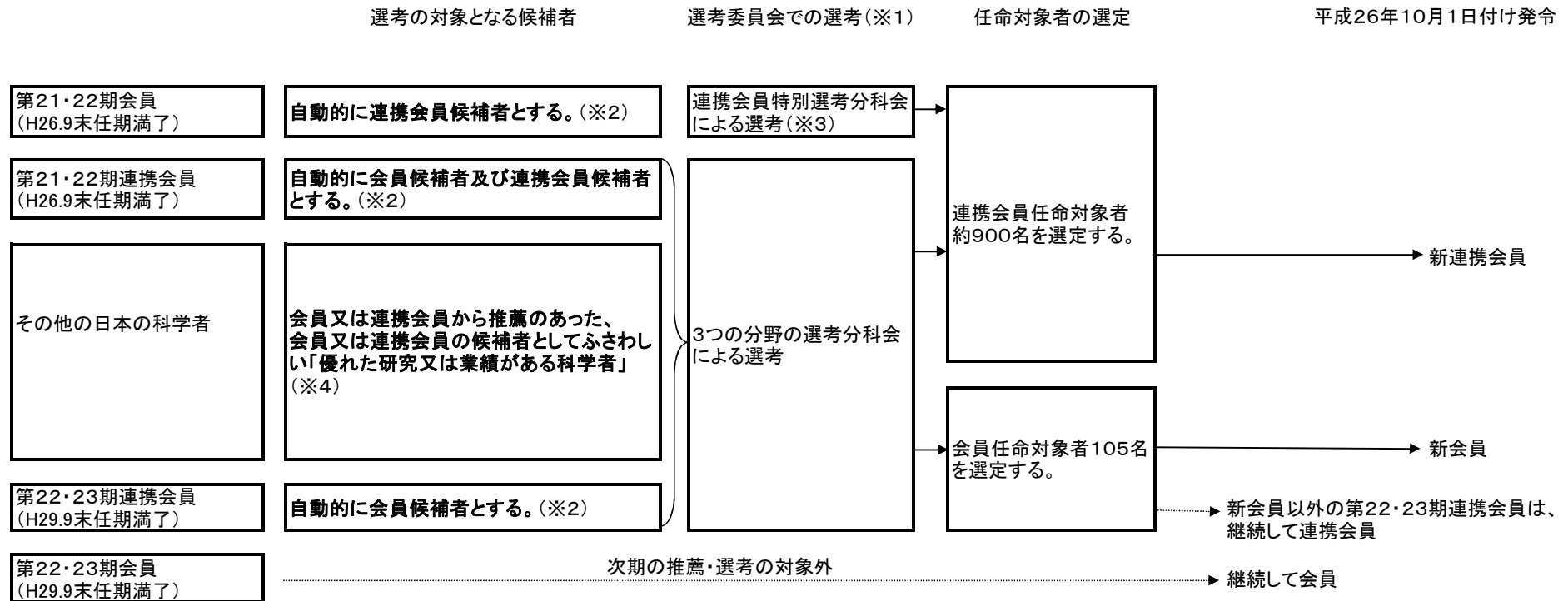
3 協力学術研究団体から情報提供を求めることに関する事項

平成26年10月の改選においては、日本学術会議会則（平成17年10月24日日本学術会議規則第3号）第35条第4項の規定に基づき、協力学術研究団体に対し、会員又は連携会員の候補者に関する情報を求めることとする。その際、別紙2の事項を踏まえるものとする。

平成26年10月の改選における会員・連携会員候補者の推薦・選考について

別紙1

3



- (※1) 協力学術研究団体から提供された情報は、審議の参考情報とする。
- (※2) 本人に、就任意思の確認と現在の本人情報を求める。ただし、年齢により選考対象とならない者を除く。
- (※3) 第21・22期の補欠会員のうち会員候補者資格を有する者は、第21・22期連携会員と同様の手続とする。(補欠会員のみ会員に再任できる。)(平成25年7月現在、第21・22期に補欠会員に就任した者は10名。)
- (※4) 推薦書に、会員又は連携会員のどちらの候補者として推薦するかを記入する。
会員の候補者として推薦された者は、連携会員の候補者としても推薦された者とみなす。

協力学術研究団体からの候補者情報の提供について

平成26年10月の日本学術会議会員及び連携会員の改選においては、日本学術会議会則第35条第4項の規定に基づき、協力学術研究団体に対し、会員又は連携会員の候補者に関する情報提供を求めることとする。その際、下記の事項を踏まえるものとする。

これは、選考委員会における審議の参考情報として用いるものであって、協力学術研究団体から直接推薦を求めるものではない。

記

1 当該情報の活用方法

協力学術研究団体から提供を受けた情報は、選考委員会限りとし、候補者の名簿を作成するための「その他の情報」（会則第8条第2項）として取り扱う。

2 候補者情報の区分

日本学術会議の会員及び連携会員としてふさわしい「優れた研究又は業績がある科学者」の情報を提供してもらう。

3 情報提供可能人数

1 協力学術研究団体につき6名以内とする。なお、女性の人数については、次のとおりとする。

提供数	うち女性の数
1, 2名	0名以上
3名	1名以上
4～6名	2名以上

※ 第3次男女共同参画基本計画（平成22年12月17日閣議決定）において、「2020年に指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする目標に向けた取組を推進」していることから、3名以上の情報提供がある場合、女性の数を3割以上とすることとした。

4 協力学術研究団体から求める情報の範囲

- ① 氏名（漢字、ふりがな）
- ② 現職名
- ③ 専門分野（科研費の細目から選択）

※より詳しい情報が必要な場合は、選考委員会（分科会を含む。）が調査を行うものとする。

5 協力学術研究団体への情報の求め方

- ① 会長から、協力学術研究団体の長に依頼する。
- ② 依頼に当たっては、あくまで「情報提供」であり、「推薦」でないことを注意喚起する。このため、協力学術研究団体は、情報提供される科学者本人の了解をとらないものとする。
- ③ 情報提供の主体は、協力学術研究団体とし、個人からの情報提供は認めない。
- ④ 候補者1名に対し複数の情報提供があっても選考過程に差異はない。
- ⑤ 現会員及び現連携会員は、自動的に選考の候補者となることから情報提供は不要である。
- ⑥ 提出方法
内閣府共通意見等登録システム（N o p i システム）を利用する。
- ⑦ 依頼時期
会員・連携会員が推薦を行う時期と同時期に行う。

6 選考結果等

- ① 選考結果は、協力学術研究団体に対し、個別に報告しない。（発令の結果をご覧くださいことになる。）
- ② 協力学術研究団体からの選考に関する問合せには応じない。
- ③ 就任意思の確認等を行う場合は、選考委員会（分科会を含む。）が科学者本人に対し個別に行う。

（参考条文）

○日本学術会議会則（平成17年10月24日日本学術会議規則第3号）（抄）

（会員及び連携会員の選考の手続）

第8条 会員及び連携会員（※特任連携会員を除く。）は、幹事会が定めるところにより、会員及び連携会員の候補者を、別に総会が定める委員会（※選考委員会）に推薦することができる。

2 前項の委員会（※選考委員会）は、前項の推薦その他の情報に基づき、会員及び連携会員の候補者の名簿を作成し、幹事会に提出する。

3～6 （略）

（日本学術会議協力学術研究団体）

第35条 (略)

4 協力学術研究団体は、学術会議の求めに応じ、会員又は連携会員の候補者に関する情報等を提供することができる。

5～6 (略)

日本学術会議会員候補者・連携会員候補者推薦書

1. 推薦者が記入する項目

 … 必須入力項目です

あなた(推薦者)の氏名

候補者が所属するのに適切と考える分科別委員会 ※ドロップダウンリストから選択してください。

 委員会が適切である

候補者の推薦区分 ※[会員][連携会員] から選択してください。

 に推薦する

推薦理由 ※ 全角500文字以内で記入してください。この枠いっぱいでは500文字です。(参考) 現在、約 0 文字です。

2. 候補者が記入する項目

 … 必須入力項目です

 … どれかひとつは入力してください

< 姓 >

< 名 >

氏名:

性別:

※[男][女]から選択してください。

ふりがな:

※全角ひらがな

生年月日:

就任時 歳 (自動計算)

半角で、西暦4桁/月/日 形式で入力してください。

戸籍名:

ふりがな:

※全角ひらがな

※通常使用している氏名と戸籍名が異なる場合のみ記入してください。〈姓〉〈名〉のどちらかが異なる場合でも、〈姓〉〈名〉の両方を入力してください。

候補者の日本学術会議での現職／非現職区分

 である

勤務先名:

勤務先での職名:

< 自宅 >

郵便番号:

※ハイフン区切り半角数字

都道府県:

所在地(市区町村以下):

建物等名:

電話番号:

※ハイフン区切り半角数字

FAX番号:

※ハイフン区切り半角数字

E-mail:

< 勤務先 >

※特定の勤務先がない場合は、自宅住所を記入してください。

郵便番号:

※ハイフン区切り半角数字

都道府県:

所在地(市区町村以下):

建物等名:

電話番号:

※ハイフン区切り半角数字

内線番号:

FAX番号:

※ハイフン区切り半角数字

E-mail:

※自宅又は勤務先の「電話番号」「FAX番号」「E-mail」のうち、確実に連絡が取れるものを選んで入力してください。

優先する連絡先:

に連絡する

※[自宅][勤務先]から選択してください。

< 主要な学歴および学位を3件以内で記入してください >

	年	月	学歴・学位の内容
学歴・学位 1 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
学歴・学位 2 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
学歴・学位 3 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

↑ ↑
※西暦4桁（半角数字） ※1～12の半角数字

< 主要な職歴を現職から順に遡って7件以内で記入してください >

	年	月	職歴の内容
職歴 1 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 2 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 3 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 4 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 5 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 6 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 7 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

↑ ↑
※西暦4桁（半角数字） ※1～12の半角数字

現職名・名簿記載職名 :

※ こちらに記入した内容が、名簿記載上の職名になります。

< 専門分野（「科学研究費助成事業（科研費）」の細目名の中から相当する細目番号）を3件以内で入力してください >
（細目番号は「科研費細目表」シート参照）

※科研費を受け取っていない場合でも、該当すると思われる専門分野を入力してください。

	＜細目番号＞	＜細目名＞	
専門分野(科研費細目名) 1 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	※ #N/A と表示された場合は＜細目番号＞が誤りです。
専門分野(科研費細目名) 2 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	※ #N/A と表示された場合は＜細目番号＞が誤りです。
専門分野(科研費細目名) 3 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	※ #N/A と表示された場合は＜細目番号＞が誤りです。

< 主要な研究内容を3件以内で記入してください >

研究内容 1 :	<input type="text"/>
研究内容 2 :	<input type="text"/>
研究内容 3 :	<input type="text"/>

< 所属している国内の学会の名前を3件以内で記入してください >

国内所属学会名 1 :	<input type="text"/>
国内所属学会名 2 :	<input type="text"/>
国内所属学会名 3 :	<input type="text"/>

< 所属している海外の学会の名前を3件以内で記入してください >

国際所属学会名 1 :	<input type="text"/>
国際所属学会名 2 :	<input type="text"/>
国際所属学会名 3 :	<input type="text"/>

< 主要な学術論文、著書、特許等の学術的業績を5件以内で記入してください >

業績1: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁（半角数字）

業績2: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁（半角数字）

業績3: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁（半角数字）

業績4: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁（半角数字）

業績5: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁（半角数字）

< 主要な受賞歴を3件以内で記入してください >

	受賞年	賞名	授賞機関
受賞歴1:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
受賞歴2:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
受賞歴3:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※西暦4桁（半角数字）

★候補者は、入力漏れなどが無い内容をご確認の上、このファイルを保存して、推薦者に返送してください。

★推薦者は、候補者から返送されたファイルをご確認の上、日本学術会議事務局企画課選考係まで送付してください。

注1) ファイル名は、推薦者がわかるように推薦者の「氏名」を表示してください。 【例】 23senkou（日学太郎）

注2) 複数のファイルを同時に送付される場合は、異なるファイル名にしてください。 【例】 23senkou（日学太郎）1
23senkou（日学太郎）2

		年	月	学歴・学位の内容
学歴・学位 1:	<input type="text" value="19xx"/>	<input type="text" value="3"/>		〇〇大学医学部医学科 卒業
学歴・学位 2:	<input type="text"/>	<input type="text"/>		
学歴・学位 3:	<input type="text"/>	<input type="text"/>		

※西暦4桁（半角数字）
 ※1～12の半角数字

※西暦4桁（半角数字） ※1～12の半角数字

職歴の内容	
職歴 1	年 20xx 月 4 ○○大学○○学部○○学科教授
職歴 2	年 20xx 月 4 △△大学△△学部長
職歴 3	年 20xx 月 4 △△大学△△学部△△学科教授
職歴 4	年 20xx 月 4 ○○研究所長
職歴 5	年 19xx 月 10 ××大学附属××病院長
職歴 6	年 19xx 月 4 □□大学□□部教授
職歴 7	年 19xx 月 4 ○○大学△△系××科教授

※西暦4桁（半角数字） ※1～12の半角数字

※西暦4桁（半角数字） ※1～12の半角数字

※ こちらに記入した内容が、名簿記載上の職名になります。

※科研費を受け取っていない場合でも、該当すると思われる専門分野を入力してください。

	＜細目番号＞	＜細目名＞	
専門分野(科研費細目名) 1 :	8206	神経内科学	※ #N/A と表示された場合は＜細目番号＞が誤りです。
専門分野(科研費細目名) 2 :	6203	神経化学・神経薬理学	※ #N/A と表示された場合は＜細目番号＞が誤りです。
専門分野(科研費細目名) 3 :	6901	自然人類学	※ #N/A と表示された場合は＜細目番号＞が誤りです。

[illegible]

国内所属学会名 1:	○○学会
国内所属学会名 2:	△△学会
国内所属学会名 3:	□□学会

国際所属学会名 1:	Member of xxx
国際所属学会名 2:	Member of yyy
国際所属学会名 3:	Member of zzz

< 主要な学術論文、著書、特許等の学術的業績を5件以内で記入してください >

業績1: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名:	<input type="text" value="tyosyamei"/>
論文標題:	<input type="text" value="hyoudai"/>
雑誌名、巻号、ページ又は 会議名、開催場所等:	<input type="text" value="page"/>
発行年又は会議開催年:	<input type="text" value="20xx"/> ※西暦4桁（半角数字）

業績2: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名:	<input type="text" value="tyosyamei"/>
論文標題:	<input type="text" value="hyoudai"/>
雑誌名、巻号、ページ又は 会議名、開催場所等:	<input type="text" value="page"/>
発行年又は会議開催年:	<input type="text" value="19xx"/> ※西暦4桁（半角数字）

業績3: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

発明者名:	<input type="text" value="乃木坂次郎"/>
産業財産権の名称:	<input type="text" value="〇〇に関する発明"/>
産業財産権の種類、番号:	<input type="text" value="特許第211****号"/>
取得年:	<input type="text" value="19xx"/> ※西暦4桁（半角数字）

業績4: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名:	<input type="text" value="乃木坂次郎"/>
書名:	<input type="text" value="〇〇〇"/>
出版社:	<input type="text" value="〇〇出版社"/>
発行年:	<input type="text" value="19xx"/> ※西暦4桁（半角数字）

業績5: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:	<input type="text"/>
標題、書名又は 産業財産権の名称:	<input type="text"/>
雑誌名、出版社又は 会議名、開催場所等:	<input type="text"/>
発行年、開催年又は取得年:	<input type="text"/> ※西暦4桁（半角数字）

< 主要な受賞歴を3件以内で記入してください >

受賞年	賞名	授賞機関
受賞歴1: <input type="text" value="20xx"/>	<input type="text" value="〇〇〇〇"/>	<input type="text" value="〇〇財団"/>
受賞歴2: <input type="text" value="19xx"/>	<input type="text" value="●●●●"/>	<input type="text" value="●●財団"/>
受賞歴3: <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※西暦4桁（半角数字）

★候補者は、入力漏れなどがないか内容をご確認の上、このファイルを保存して、推薦者に返送してください。

★推薦者は、候補者から返送されたファイルをご確認の上、日本学術会議事務局企画課選考係まで送付してください。

注1) ファイル名は、推薦者がわかるように推薦者の「氏名」を表示してください。 【例】 23senkou（日学太郎）

注2) 複数のファイルを同時に送付される場合は、異なるファイル名にしてください。 【例】 23senkou（日学太郎） 1
23senkou（日学太郎） 2

平成25年度科学研究費助成事業（科研費）細目表

出典：（独）日本学術振興会ホームページ

4桁の番号をコピーして、専門分野の「細目番号」欄に貼り付けてください。



分科CD	分 科	細目番号	細 目 名
10	情報学基礎	1001	情報学基礎理論
10	情報学基礎	1002	数理情報学
10	情報学基礎	1003	統計科学
11	計算基盤	1101	計算機システム
11	計算基盤	1102	ソフトウェア
11	計算基盤	1103	情報ネットワーク
11	計算基盤	1104	マルチメディア・データベース
11	計算基盤	1105	高性能計算
11	計算基盤	1106	情報セキュリティ
12	人間情報学	1201	認知科学
12	人間情報学	1202	知覚情報処理
12	人間情報学	1203	ヒューマンインタフェース・インタラクション
12	人間情報学	1204	知能情報学
12	人間情報学	1205	ソフトコンピューティング
12	人間情報学	1206	知能ロボティクス
12	人間情報学	1207	感性情報学
13	情報学フロンティア	1301	生命・健康・医療情報学
13	情報学フロンティア	1302	ウェブ情報学・サービス情報学
13	情報学フロンティア	1303	図書館情報学・人文社会情報学
13	情報学フロンティア	1304	学習支援システム
13	情報学フロンティア	1305	エンタテインメント・ゲーム情報学
14	環境解析学	1401	環境動態解析
14	環境解析学	1402	放射線・化学物質影響科学
14	環境解析学	1403	環境影響評価
15	環境保全学	1501	環境技術・環境負荷低減
15	環境保全学	1502	環境モデリング・保全修復技術
15	環境保全学	1503	環境材料・リサイクル
15	環境保全学	1504	環境リスク制御・評価
16	環境創成学	1601	自然共生システム
16	環境創成学	1602	持続可能システム
16	環境創成学	1603	環境政策・環境社会システム
16	デザイン学	1651	デザイン学
17	生活科学	1701	家政・生活学一般
17	生活科学	1702	衣・住生活学
17	生活科学	1703	食生活学
18	科学教育・教育工学	1801	科学教育
18	科学教育・教育工学	1802	教育工学
19	科学社会学・科学技術史	1901	科学社会学・科学技術史
20	文化財科学・博物館学	2001	文化財科学・博物館学
21	地理学	2101	地理学
22	社会・安全システム科学	2201	社会システム工学・安全システム
22	社会・安全システム科学	2202	自然災害科学・防災学
23	人間医工学	2301	生体医工学・生体材料学
23	人間医工学	2302	医用システム
23	人間医工学	2303	医療技術評価学
23	人間医工学	2304	リハビリテーション科学・福祉工学
24	健康・スポーツ科学	2401	身体教育学
24	健康・スポーツ科学	2402	スポーツ科学

分科CD	分 科	細目番号	細 目 名
24	健康・スポーツ科学	2403	応用健康科学
24	子ども学	2451	子ども学（子ども環境学）
25	生体分子科学	2501	生物分子化学
25	生体分子科学	2502	ケミカルバイオロジー
26	脳科学	2601	基盤・社会脳科学
26	脳科学	2602	脳計測科学
27	地域研究	2701	地域研究
28	ジェンダー	2801	ジェンダー
29	哲学	2901	哲学・倫理学
29	哲学	2902	中国哲学・印度哲学・仏教学
29	哲学	2903	宗教学
29	哲学	2904	思想史
30	芸術学	3001	美学・芸術諸学
30	芸術学	3002	美術史
30	芸術学	3003	芸術一般
31	文学	3101	日本文学
31	文学	3102	英米・英語圏文学
31	文学	3103	ヨーロッパ文学
31	文学	3104	中国文学
31	文学	3105	文学一般
32	言語学	3201	言語学
32	言語学	3202	日本語学
32	言語学	3203	英語学
32	言語学	3204	日本語教育
32	言語学	3205	外国語教育
33	史学	3301	史学一般
33	史学	3302	日本史
33	史学	3303	アジア史・アフリカ史
33	史学	3304	ヨーロッパ史・アメリカ史
33	史学	3305	考古学
34	人文地理学	3401	人文地理学
35	文化人類学	3501	文化人類学・民俗学
36	法学	3601	基礎法学
36	法学	3602	公法学
36	法学	3603	国際法学
36	法学	3604	社会法学
36	法学	3605	刑事法学
36	法学	3606	民事法学
36	法学	3607	新領域法学
37	政治学	3701	政治学
37	政治学	3702	国際関係論
38	経済学	3801	理論経済学
38	経済学	3802	経済学説・経済思想
38	経済学	3803	経済統計
38	経済学	3804	経済政策
38	経済学	3805	財政・公共経済
38	経済学	3806	金融・ファイナンス
38	経済学	3807	経済史
39	経営学	3901	経営学
39	経営学	3902	商学
39	経営学	3903	会計学
40	社会学	4001	社会学
40	社会学	4002	社会福祉学
41	心理学	4101	社会心理学
41	心理学	4102	教育心理学

分科CD	分 科	細目番号	細 目 名
41	心理学	4103	臨床心理学
41	心理学	4104	実験心理学
42	教育学	4201	教育学
42	教育学	4202	教育社会学
42	教育学	4203	教科教育学
42	教育学	4204	特別支援教育
43	ナノ・マイクロ科学	4301	ナノ構造化学
43	ナノ・マイクロ科学	4302	ナノ構造物理
43	ナノ・マイクロ科学	4303	ナノ材料化学
43	ナノ・マイクロ科学	4304	ナノ材料工学
43	ナノ・マイクロ科学	4305	ナノバイオサイエンス
43	ナノ・マイクロ科学	4306	ナノマイクロシステム
44	応用物理学	4401	応用物性
44	応用物理学	4402	結晶工学
44	応用物理学	4403	薄膜・表面界面物性
44	応用物理学	4404	光工学・光量子科学
44	応用物理学	4405	プラズマエレクトロニクス
44	応用物理学	4406	応用物理学一般
45	量子ビーム科学	4501	量子ビーム科学
46	計算科学	4601	計算科学
47	数学	4701	代数学
47	数学	4702	幾何学
47	数学	4703	解析学基礎
47	数学	4704	数学解析
47	数学	4705	数学基礎・応用数学
48	天文学	4801	天文学
49	物理学	4901	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
49	物理学	4902	物性Ⅰ
49	物理学	4903	物性Ⅱ
49	物理学	4904	数理物理・物性基礎
49	物理学	4905	原子・分子・量子エレクトロニクス
49	物理学	4906	生物物理・化学物理・ソフトマターの物理
50	地球惑星科学	5001	固体地球惑星物理学
50	地球惑星科学	5002	気象・海洋物理・陸水学
50	地球惑星科学	5003	超高層物理学
50	地球惑星科学	5004	地質学
50	地球惑星科学	5005	層位・古生物学
50	地球惑星科学	5006	岩石・鉱物・鉱床学
50	地球惑星科学	5007	地球宇宙化学
51	プラズマ科学	5101	プラズマ科学
52	基礎化学	5201	物理化学
52	基礎化学	5202	有機化学
52	基礎化学	5203	無機化学
53	複合化学	5301	機能物性化学
53	複合化学	5302	合成化学
53	複合化学	5303	高分子化学
53	複合化学	5304	分析化学
53	複合化学	5305	生体関連化学
53	複合化学	5306	グリーン・環境化学
53	複合化学	5307	エネルギー関連化学
54	材料化学	5401	有機・ハイブリッド材料
54	材料化学	5402	高分子・繊維材料
54	材料化学	5403	無機工業材料
54	材料化学	5404	デバイス関連化学
55	機械工学	5501	機械材料・材料力学

分科CD	分 科	細目番号	細 目 名
55	機械工学	5502	生産工学・加工学
55	機械工学	5503	設計工学・機械機能要素・トライボロジー
55	機械工学	5504	流体工学
55	機械工学	5505	熱工学
55	機械工学	5506	機械力学・制御
55	機械工学	5507	知能機械学・機械システム
56	電気電子工学	5601	電力工学・電力変換・電気機器
56	電気電子工学	5602	電子・電気材料工学
56	電気電子工学	5603	電子デバイス・電子機器
56	電気電子工学	5604	通信・ネットワーク工学
56	電気電子工学	5605	計測工学
56	電気電子工学	5606	制御・システム工学
57	土木工学	5701	土木材料・施工・建設マネジメント
57	土木工学	5702	構造工学・地震工学・維持管理工学
57	土木工学	5703	地盤工学
57	土木工学	5704	水工学
57	土木工学	5705	土木計画学・交通工学
57	土木工学	5706	土木環境システム
58	建築学	5801	建築構造・材料
58	建築学	5802	建築環境・設備
58	建築学	5803	都市計画・建築計画
58	建築学	5804	建築史・意匠
59	材料工学	5901	金属物性・材料
59	材料工学	5902	無機材料・物性
59	材料工学	5903	複合材料・表界面工学
59	材料工学	5904	構造・機能材料
59	材料工学	5905	材料加工・組織制御工学
59	材料工学	5906	金属・資源生産工学
60	プロセス・化学工学	6001	化工物性・移動操作・単位操作
60	プロセス・化学工学	6002	反応工学・プロセスシステム
60	プロセス・化学工学	6003	触媒・資源化学プロセス
60	プロセス・化学工学	6004	生物機能・バイオプロセス
61	総合工学	6101	航空宇宙工学
61	総合工学	6102	船舶海洋工学
61	総合工学	6103	地球・資源システム工学
61	総合工学	6104	核融合学
61	総合工学	6105	原子力学
61	総合工学	6106	エネルギー学
62	神経科学	6201	神経生理学・神経科学一般
62	神経科学	6202	神経解剖学・神経病理学
62	神経科学	6203	神経化学・神経薬理学
63	実験動物学	6301	実験動物学
64	腫瘍学	6401	腫瘍生物学
64	腫瘍学	6402	腫瘍診断学
64	腫瘍学	6403	腫瘍治療学
65	ゲノム科学	6501	ゲノム生物学
65	ゲノム科学	6502	ゲノム医科学
65	ゲノム科学	6503	システムゲノム科学
66	生物資源保全学	6601	生物資源保全学
67	生物科学	6701	分子生物学
67	生物科学	6702	構造生物化学
67	生物科学	6703	機能生物化学
67	生物科学	6704	生物物理学
67	生物科学	6705	細胞生物学
67	生物科学	6706	発生生物学

分科CD	分 科	細目番号	細 目 名
68	基礎生物学	6801	植物分子・生理科学
68	基礎生物学	6802	形態・構造
68	基礎生物学	6803	動物生理・行動
68	基礎生物学	6804	遺伝・染色体動態
68	基礎生物学	6805	進化生物学
68	基礎生物学	6806	生物多様性・分類
68	基礎生物学	6807	生態・環境
69	人類学	6901	自然人類学
69	人類学	6902	応用人類学
70	生産環境農学	7001	遺伝育種科学
70	生産環境農学	7002	作物生産科学
70	生産環境農学	7003	園芸科学
70	生産環境農学	7004	植物保護科学
71	農芸化学	7101	植物栄養学・土壌学
71	農芸化学	7102	応用微生物学
71	農芸化学	7103	応用生物化学
71	農芸化学	7104	生物有機化学
71	農芸化学	7105	食品科学
72	森林圏科学	7201	森林科学
72	森林圏科学	7202	木質科学
73	水圏応用科学	7301	水圏生産科学
73	水圏応用科学	7302	水圏生命科学
74	社会経済農学	7401	経営・経済農学
74	社会経済農学	7402	社会・開発農学
75	農業工学	7501	地球環境工学・計画学
75	農業工学	7502	農業環境・情報工学
76	動物生命科学	7601	動物生産科学
76	動物生命科学	7602	獣医学
76	動物生命科学	7603	統合動物科学
77	境界農学	7701	昆虫科学
77	境界農学	7702	環境農学（含ランドスケープ科学）
77	境界農学	7703	応用分子細胞生物学
78	薬学	7801	化学系薬学
78	薬学	7802	物理系薬学
78	薬学	7803	生物系薬学
78	薬学	7804	薬理系薬学
78	薬学	7805	天然資源系薬学
78	薬学	7806	創薬化学
78	薬学	7807	環境・衛生系薬学
78	薬学	7808	医療系薬学
79	基礎医学	7901	解剖学一般（含組織学・発生学）
79	基礎医学	7902	生理学一般
79	基礎医学	7903	環境生理学（含体力医学・栄養生理学）
79	基礎医学	7904	薬理学一般
79	基礎医学	7905	医化学一般
79	基礎医学	7906	病態医化学
79	基礎医学	7907	人類遺伝学
79	基礎医学	7908	人体病理学
79	基礎医学	7909	実験病理学
79	基礎医学	7910	寄生虫学（含衛生動物学）
79	基礎医学	7911	細菌学（含真菌学）
79	基礎医学	7912	ウイルス学
79	基礎医学	7913	免疫学
80	境界医学	8001	医療社会学
80	境界医学	8002	応用薬理学

分科CD	分 科	細目番号	細 目 名
80	境界医学	8003	病態検査学
80	境界医学	8004	疼痛学
81	社会医学	8101	疫学・予防医学
81	社会医学	8102	衛生学・公衆衛生学
81	社会医学	8103	病院・医療管理学
81	社会医学	8104	法医学
82	内科系臨床医学	8201	内科学一般（含心身医学）
82	内科系臨床医学	8202	消化器内科学
82	内科系臨床医学	8203	循環器内科学
82	内科系臨床医学	8204	呼吸器内科学
82	内科系臨床医学	8205	腎臓内科学
82	内科系臨床医学	8206	神経内科学
82	内科系臨床医学	8207	代謝学
82	内科系臨床医学	8208	内分泌学
82	内科系臨床医学	8209	血液内科学
82	内科系臨床医学	8210	膠原病・アレルギー内科学
82	内科系臨床医学	8211	感染症内科学
82	内科系臨床医学	8212	小児科学
82	内科系臨床医学	8213	胎児・新生児医学
82	内科系臨床医学	8214	皮膚科学
82	内科系臨床医学	8215	精神神経科学
82	内科系臨床医学	8216	放射線科学
83	外科系臨床医学	8301	外科学一般
83	外科系臨床医学	8302	消化器外科学
83	外科系臨床医学	8303	心臓血管外科学
83	外科系臨床医学	8304	呼吸器外科学
83	外科系臨床医学	8305	脳神経外科学
83	外科系臨床医学	8306	整形外科学
83	外科系臨床医学	8307	麻酔科学
83	外科系臨床医学	8308	泌尿器科学
83	外科系臨床医学	8309	産婦人科学
83	外科系臨床医学	8310	耳鼻咽喉科学
83	外科系臨床医学	8311	眼科学
83	外科系臨床医学	8312	小児外科学
83	外科系臨床医学	8313	形成外科学
83	外科系臨床医学	8314	救急医学
84	歯学	8401	形態系基礎歯科学
84	歯学	8402	機能系基礎歯科学
84	歯学	8403	病態科学系歯学・歯科放射線学
84	歯学	8404	保存治療系歯学
84	歯学	8405	補綴・理工系歯学
84	歯学	8406	歯科医用工学・再生歯学
84	歯学	8407	外科系歯学
84	歯学	8408	矯正・小児系歯学
84	歯学	8409	歯周治療系歯学
84	歯学	8410	社会系歯学
85	看護学	8501	基礎看護学
85	看護学	8502	臨床看護学
85	看護学	8503	生涯発達看護学
85	看護学	8504	高齢看護学
85	看護学	8505	地域看護学

(提案3)

選考委員会運営要綱（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後			改 正 前		
(略)			(略)		
(分科会)			(分科会)		
第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。			第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。		
分科会	調査審議事項	構成	分科会	調査審議事項	構成
連携会員特別選考分科会	平成26年9月30日に任期が満了する会員に係る連携会員候補者の選考に関する事	委員会の委員のうち、平成26年9月30日までに会員を退任する又は会員としての任期が満了する委員以外の者	連携会員特別選考分科会	平成23年9月30日に任期が満了する会員に係る連携会員候補者の選考に関する事	委員会の委員のうち、平成23年9月30日までに会員を退任する又は会員としての任期が満了する委員以外の者
人文・社会科学選考分科会	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、人文・社会科学分野に関する事	第一部の会員のうち、副会長、役員、委員会の委員並びに分野別委員会の委員長及び副委員長	人文・社会科学選考分科会	平成23年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、人文・社会科学分野に関する事	副会長、第一部の役員、委員会の委員及び分野別委員会の委員28名以内（ただし、人文・社会科学分野を専門とする者で会員に限る。）
生命科学選考分科会	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、生命科学分	第二部の会員のうち、副会長、役員、委員会の委員並びに分野別委員会の委員長及び副委員長	生命科学選考分科会	平成23年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、生命科学分	副会長、第二部の役員、委員会の委員及び分野別委員会の委員26名以内（ただし、生命科学分野を専門と

	野に関すること			野に関すること	する者で会員に限る。 └	
理学・工学選考分 科会	平成26年10月 の改選に向けた会 員候補者及び連携 会員候補者の選考 のうち、理学・工学 分野に関すること	第三部の会員のうち、 副会長、役員、委員会 の委員並びに分野別 委員会の委員長及び 副委員長		理学・工学選考分 科会	平成23年10月 の改選に向けた会 員候補者及び連携 会員候補者の選考 のうち、理学・工学 分野に関すること	副会長、第三部の役員 、委員会の委員及び分 野別委員会の委員3 0名以内（ただし、理 学・工学分野を専門と する者で会員に限る。 └
(略)				(略)		

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

選考委員会分科会の設置について

分科会等名 : 連携会員特別選考分科会

1	所属委員会名	選考委員会
2	委員の構成	選考委員会の委員のうち、平成26年9月30日までに会員を退任する又は会員としての任期が満了する委員以外の者
3	設置目的	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、平成26年9月30日に任期が満了する会員に係る連携会員候補者の選考実務（候補者の審査）を行うことを目的として分科会を設置する。
4	審議事項	平成26年9月30日に任期が満了する会員に係る連携会員候補者の選考に関する事
5	設置期間	時限設置 平成26年1月1日～平成26年9月30日
		常設
6	備考	

選考委員会分科会の設置について

分科会等名 : 人文・社会科学選考分科会

1	所属委員会名	選考委員会
2	委員の構成	第一部の会員のうち、副会長、役員、選考委員会の委員並びに分野別委員会の委員長及び副委員長
3	設置目的	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、人文・社会科学分野に関する選考実務（候補者の審査）を行うことを目的として分科会を設置する。
4	審議事項	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、人文・社会科学分野に関すること
5	設置期間	時限設置 平成26年1月1日～平成26年9月30日
		常設
6	備考	

選考委員会分科会の設置について

分科会等名 : 生命科学選考分科会

1	所属委員会名	選考委員会
2	委員の構成	第二部の会員のうち、副会長、役員、選考委員会の委員並びに分野別委員会の委員長及び副委員長
3	設置目的	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、生命科学分野に関する選考実務（候補者の審査）を行うことを目的として分科会を設置する。
4	審議事項	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、生命科学分野に関すること
5	設置期間	<div> <div>時限設置</div> <div>平成26年1月1日～平成26年9月30日</div> </div>
		常設
6	備考	

選考委員会分科会の設置について

分科会等名 : 理学・工学選考分科会

1	所属委員会名	選考委員会
2	委員の構成	第三部の会員のうち、副会長、役員、選考委員会の委員並びに分野別委員会の委員長及び副委員長
3	設置目的	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、理学・工学分野に関する選考実務（候補者の審査）を行うことを目的として分科会を設置する。
4	審議事項	平成26年10月の改選に向けた会員候補者及び連携会員候補者の選考のうち、理学・工学分野に関すること
5	設置期間	<div> <div>時限設置</div> <div>平成26年1月1日～平成26年9月30日</div> </div>
		常設
6	備考	

(提案4)

分野別委員会運営要綱(平成23年9月1日日本学術会議第133回幹事会決定)の一部を次のように改正する。

改 正 後					改 正 前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
心理学・教育学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	心理学・教育学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	心理学・教育学委員会教育のガバナンス分科会	1. 教育ガバナンスに関する政策動向の教育学的な検証 2. 教育組織におけるガバナンスのあり方について審議及び教育の自立性にもとづく新たなシステムの政策提言に係る審議に関すること	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年10月25日～平成26年9月30日		(新規設置)			
	心理学・教育学委員会教育学分野の参照基準検討分科会	教育学分野における教育課程編成上の参照基準の検討に関すること	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年10月25日～平成26年9月30日		(新規設置)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
土木工学・建築学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	土木工学・建築学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	土木工学・建築学委員会地球環境の変化に伴う風水害・土砂災害への対応分科会	1. 地球環境の変化が風水害・土砂災害に及ぼす影響 2. 防災設備やソフト対応策の適切なも運用・整備の検討 3. 今後の対応策のあり方に関する根本的理念の検討に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員			土木工学・建築学委員会地球環境の変化に伴う風水害・土砂災害への対応分科会	1. 地球環境の変化が風水害・土砂災害に及ぼす影響 2. 防災設備やソフト対応策の適切なも運用・整備の検討 3. 今後の対応策のあり方に関する根本的理念の検討に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	
	土木工学・建築学委員会地球環境の変化に伴う風水害・土砂災害への対応分科会佐賀低平地への適応策実装検討小委員会	地球温暖化適応策の実装に係る審議に関すること	10名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者			(新規設置)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

心理学・教育学委員会 分科会の設置について

分科会名：教育のガバナンス分科会

1	所属委員会名	心理学・教育学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>小学校から大学に至るまで、戦後日本の教育組織の基軸となってきたのは、民主的運営と、当該分野の専門職に対する信頼と、一定の意思決定の移譲という考え方である。</p> <p>しかし近年、学校や大学に批判の目が向けられ、その性急な解決を求めて、政治権力ないしは組織の長による統制の強化をもたらす動きが強まっている。最近では、教育委員会、教育長に対する自治体首長の任命権、行政的な指示の拡大、あるいは大学における教授会に対する学長の権限の強化などが提起されている。</p> <p>こうした動きの背景には学校や大学と社会的な要求との間に亀裂があり、学校・大学・教育システムのガバナンスに何らかの変化が必要であることは事実である。しかし、新しいガバナンスのあり方が求められるとすれば、教育や個々の学術分野における専門職としての教員の知見や能力が有効に活かされなければならない。本分科会は、学校・大学・教育システムにおけるガバナンスの問題点を整理するとともに、教職員の専門性を活かした参加のあり方を展望し、政策的な提言を行うことを目的とする。</p>
4	審議事項	<p>1. 教育ガバナンスに関する政策動向の教育学的な検証</p> <p>2. 教育組織におけるガバナンスのあり方について審議及び教育の自律性にもとづく新たなシステムの政策提言に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	<div>期限設置</div> <p>平成25年 10月25日～ 平成26年9月30日</p> <div>常設</div>
6	備考	※新規設置

心理学・教育学委員会 分科会の設置について

分科会名：教育学分野の参照基準検討分科会

1	所属委員会名	心理学・教育学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>学士課程の質保証のための教育学分野における教育課程編成上の参照基準を審議する分科会である。</p> <p>教育学分野の学士課程は、大別して（１）教養教育の一環としての教育学教育、（２）教員養成を目的とする教育学教育、（３）教育学それ自体の専門教育の三つの性格において教育されている。</p> <p>本分科会は、学士課程における教育学教育の質保証のために、上記３領域の教育課程編成上の参照基準について審議することを目的とする。</p>
4	審議事項	<p>１． 教養教育としての教育学教育の参照基準についての審議</p> <p>２． 教員養成における教育学教育の参照基準についての審議</p> <p>３． 教育学の専門教育の参照基準についての審議</p>
5	設置期間	<div>期限設置</div> <p>平成25年 10月25日～ 平成26年9月30日</p> <div>常設</div>
6	備考	※新規設置

土木工学・建築学委員会 地球環境の変化に伴う風水害・土砂災害への対応分科会 小委員会の設置について

分科会等名：佐賀低平地への適応策実装検討小委員会

1	所属委員会名	土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員、連携会員又は連携会員若しくは連携会員以外の者
3	設置目的	土木工学・建築学委員会 地球環境の変化に伴う風水害・土砂災害への対応分科会では、地球温暖化による災害外力の増大下の風水害・土砂災害への具体的な適応策について議論を重ねてきた。その結果いくつかの有望な適応策が現在考えられているが、次のステップとして具体的な適応策の地域への実装・実施が大きな課題となっている。大部分が低平地で洪水や高潮による大きなリスクを抱える佐賀低平地域は、住民や自治体の防災意識も高く防災策も先行しているので、ここを対象地域としてこの地域に詳しい地元の大学の研究者、特に人文社会系の研究者や国・自治体の技術者、NPOの代表等を交えた小委員会を設置したい。同小委員会で実装上の課題を検討・解決して、分科会へ報告し、分科会からの提言等により他地域への展開を図るものとする。
4	審議事項	地球温暖化適応策の実装に係る審議に関すること
5	設置期間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 <div>常設</div>
6	備考	※新規設置

【分野別委員会】

○委員の決定（追加3件）

（心理学・教育学委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
利島 保	広島大学名誉教授、広島大学医歯薬保健学研究院医学分野特任教授	連携会員

（社会学委員会 社会学コンソーシアム分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
遠藤 薫	学習院大学法学部教授	連携会員

（社会学委員会 社会学分野の参照基準検討分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
上野千鶴子	東京大学名誉教授	第一部会員

【小委員会】

○委員の決定（新規1件）

（土木工学・建築学委員会 地球環境の変化に伴う風水害・土砂災害への対応分科会 佐賀低平地への適応策実装検討小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小松 利光	九州大学工学研究院特命教授・名誉教授	第三部会員
池田 駿介	東京工業大学名誉教授	連携会員
望月 常好	五洋建設株式会社専務執行役員	連携会員

Paris, 16 October 2013

Dear Mr Sato,

The International Council for Science (ICSU), on behalf of the Science and Technology Alliance for global sustainability, is pleased to invite you to participate in the bidders' conference, as part of the selection process to host the permanent secretariat of Future Earth. 21 expressions of interest were received from across Africa, Asia-Pacific, Europe, Latin America and the Caribbean, North Africa and the Middle East, and North America. The selection committee assessed the expressions of interest and all credible proposals are being invited forward.

The conference will be held on 14 and 15 November 2013, with a welcome dinner on 13 November 2013. The meeting venue is located near Paris CDG airport at the following address:

Le Manoir de Gressy
2. rue Saint Denis
77410 Gressy – France
www.manoirdegressy.com

The bidders' conference is conceived as a networking event where bidders will have the opportunity to exchange with Alliance and Future Earth representatives on the requirements for the Future Earth Secretariat, and also meet with other bidders from around the world in order to prepare for the call for full proposals.

Participants are required to register by 27 October 2013 (see logistical information enclosed). For logistical reasons, we invite delegations of more than 3 people to contact us directly. ICSU is subsidising the conference but participants are expected to cover their travel and accommodation costs.

I thank you for your interest in Future Earth and I look forward to our discussion in November.

Yours sincerely,

Steven Wilson



Executive Director, ICSU

提案 6、19 は別添なし

提案 7 ~ 18 はシンポジウム等関係のため別添 2 を御覧ください